

水稻の管理について

●育苗管理

硬化期の管理について

	管理温度	管理上の注意
硬化期	昼間20～25℃ 夜間10～15℃	緑化終了後、約10～14日間管理します。 高温が予想される時はトンネルを剥いだり、ハウスのサイドを開けるなどの対処をして下さい。また、低温が予想される場合は、保温に努めるとともに、やや乾燥気味に管理し水分過多にならないようにして下さい。
硬化後期	自然温度下で生育	本葉2枚目が出始めたら徐々に外気温に慣らし、植え付け前は昼夜ともハウスを開け放ち自然温度下で生育させる。(降霜には注意しましょう)

●田植え

箱処理剤の使用について

田植時処理剤	使用時期	使用量	ポイント
スタウトダントツ箱粒剤	播種時～移植当日	50g	害虫・いもち病に登録あり
ルーチンアドスピノGT粒剤	移植2日前～移植当日	50g	害虫・いもち病・紋枯れ病に登録あり
パダンビーム粒剤	移植当日	60～80g	ドロオイムシの多い地域では効果的

※J A育苗センターの苗については、「スタウトダントツ箱粒剤」が使用されておりますのでそのまま植えて下さい。

※「スタウトダントツ箱粒剤」は「紋枯れ病」には登録がありませんので、必要に応じて本田防除を行って下さい。

田植え時の注意点

- ◎低温時の田植えは避ける！ →活着が悪く生育が遅れます。また、水温が低いと除草剤の効きが悪くなります。
- ◎植え付け本数を適正に！ →1株当たりの植付け本数は3～4本を基本とします。
- ◎植え付けの深さを2～3cmに！ →深植えは活着が遅れ、分けつに影響します。また、極端な浅植えは除草剤による葉害や、倒伏にも弱くなります。

●水管理

- ・水温を高く保つことで活着が早まります。田植え後の3～4日間は水深3cm以上を保ち、保温に努めましょう。
- ・活着後は水深2cm程度の水管理をし、分けつを促します。また、田の水の入れ替えは気温と水温の温度差のなくなる夕方か早朝に行ってください。(日中は保温のため水の出入りを止める)

●除草剤

【注意！】 除草剤散布後は環境に配慮し7日間は落水・かけ流しは行わないで下さい。

使用時期・使用量を守り、雑草発生前からの防除を心がけましょう。

農薬名	使用時期	特徴
ピラクロンフロアブル	植代後～移植7日前または、移植直後～ノビエ1. 5葉期 ただし移植後30日まで	【注意！】 代播き時も使用可能ですが、 使用後は7日間田植えが出来ません！
サラブレットKAI1キロ粒剤	移植時～ノビエ2. 5葉期 ただし移植後30日まで	田植え同時で使用可能。低価格な初中期一発処理除草剤。
バッチリ1キロ粒剤	移植時～ノビエ2. 5葉期 ただし移植後30日まで	田植え同時で使用可能。幅広い雑草に効果があり、温度による効果の変動が少ない。
シリウスエグザ1キロ粒剤	移植時～ノビエ2. 5葉期 ただし移植後30日まで	田植え同時で使用可能。 散布時は粒が小さいので撒き過ぎに注意！
イネキングジャンボ	移植後1日 ～ノビエ2. 5葉期 ただし移植後30日まで	使用の際は、「 移植後1日～ 」に注意！ 幅広い雑草に効果がある。

☆除草剤使用時のポイント☆

- ・代播きは、出来る限り均平になるよう丁寧に行う。
- ・除草剤を散布する際には、水の出入りを止め、水深5cm程度で使用し、5日以上水を保つように努める。

田んぼの雑草図鑑



○オモダカ
(なげつら)
大きくなる
に従いイモ
がつく厄介
な雑草



○オナギ
(いもくさ)
発生量が多く、
水田一面に広
がる



○クログワイ
(ゆがら)
地下にイモを
つける難防除
雑草